



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月30日

上場会社名 プロパティデータバンク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4389 URL http://www.propertydbk.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板谷 敏正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 企画管理本部長 (氏名) 大田 武 TEL 03-5777-3468
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,024	14.4	210	94.1	210	93.2	144	102.2
2020年3月期第2四半期	896	31.2	108	19.2	108	31.5	71	27.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	25.05	24.98
2020年3月期第2四半期	12.19	12.10

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,524	1,901	75.3
2020年3月期	2,464	1,894	76.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,901百万円 2020年3月期 1,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	8.34	8.34
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,126	15.3	370	16.4	368	15.2	250	15.2	43.27

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年3月30日開催の取締役会において、自己株式の取得を決議しました。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しております。
3. 当社は、2020年7月21日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行うことを決議しました。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	5,919,900株	2020年3月期	5,913,600株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	144,721株	2020年3月期	40,043株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	5,785,759株	2020年3月期2Q	5,881,630株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2020年11月19日(木)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料は、開催日から数日以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は不動産・施設の運用管理を支援するクラウドサービス「@プロパティ」を不動産に関わる様々な業種や業態の企業に提供しております。不動産投資運用会社（REIT、ファンド）、多数の不動産を所有する大手企業・グループ企業（金融、電鉄、電力、デベロッパー、グローバル企業等）及び総合ビル管理会社等、厚い顧客基盤を背景に当社クラウドサービスは着実にその事業規模を拡大させております。

当第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の深刻化に伴う経済活動の停滞が世界規模で発生しました。緊急事態宣言解除後も感染拡大の防止策を講じつつ経済活動の回復に向けた動きはあるものの、先行き不透明な状況は依然として続いております。

当社が事業を展開するクラウドサービス分野については、新しい生活様式に基づく働き方（在宅勤務、テレワーク等）を实践するうえでの有用性が再認識されており、当社サービスに対する需要も更に高まっております。また、当社の顧客の多くが関わる不動産売買及び賃貸市場について、一部セグメントにコロナ禍の影響が及んでいるものの、不動産管理の需要自体は依然堅調に推移しており、この傾向は今後も継続するものと思われま

す。一般のコロナ禍にあつて、当社はテレワークの推進やテレビ会議を積極的に活用することで、業務遂行能力の低下を極力回避しており、受注済のプロジェクトも概ね予定どおりに進捗しております。更に、新規受注に向けた営業活動についてもテレビ会議等で十分対応できております。

新型コロナウイルス感染症拡大が当社事業に与える影響については引き続き注視してゆく必要がありますが、「システムコストの大幅削減」、「テレワークとの高い親和性」等、コロナ禍における当社サービスへの評価が以前よりむしろ高まっていること、また、売上高の多くを安定的なクラウドサービス利用料に依拠していること等を勘案し、現時点において当社の業績及び会計上の見積り等に与える影響は軽微であると考えております。

また、REIT・ファンド分野における「@プロパティ」の地位を確固たるものにするため、株式会社野村総合研究所と不動産投資顧問業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進に向けたサービスを共同で提供（以下、本協業）することに合意し、第3四半期より本協業を開始いたします。

更に、東京オペラシティビル株式会社と共同で、3次元のモデリングソフトウェアを使用して設計・建設の生産性を向上させるBIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）と「@プロパティ」を連携させた新たな不動産情報プラットフォームを構築するプロジェクトがスタートいたしました。本プロジェクトは、不動産・施設管理の高度化と生産性向上を目的とし、国土交通省の「令和2年度 BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業」にも採択され、建設・不動産業界において注目をされております。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,024,711千円（前年同期比 128,609千円増、14.4%増）、営業利益は210,859千円（前年同期比 102,197千円増、94.1%増）、経常利益は210,208千円（前年同期比 101,388千円増、93.2%増）、四半期純利益は144,923千円（前年同期比 73,250千円増、102.2%増）となりました。

なお、当社は「@プロパティ」を国内中心に事業展開する単一セグメントであるため、売上高の概要をサービス別に記載しております。

(クラウドサービス)

ストック型売上であるクラウドサービスの売上高は593,293千円（前年同期比 75,446千円増、14.6%増）となりました。新規顧客の獲得及び既存顧客の利用拡大が堅調に推移した結果、増収となりました。

(ソリューションサービス)

フロー型売上であるソリューションサービスの売上高は431,418千円（前年同期比 53,162千円増、14.1%増）となりました。前事業年度より継続して複数の大型案件のプロジェクト推進活動が順調に進捗しており、前年同期比で増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,554,335千円（前事業年度末比 3,456千円増）となりました。これは主に売掛金が223,670千円減少する一方、現金及び預金が220,965千円、前払費用が9,376千円増加したことによるものです。

当第2四半期会計期間末における固定資産は970,437千円（前事業年度末比 57,030千円増）となりました。これは主にソフトウェアが51,053千円、長期前払費用が8,445千円増加したことによるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は2,524,773千円（前事業年度末比 60,486千円増）となりました。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における流動負債は417,749千円（前事業年度末比 64,696千円増）となりました。これは主に未払金が26,775千円減少する一方、前受金が74,177千円、買掛金が17,866千円増加したことによるものです。

当第2四半期会計期間末における固定負債は205,183千円（前事業年度末比 11,431千円減）となりました。これは主に退職給付引当金が7,826千円増加する一方、役員退職慰労引当金が17,252千円減少したことによるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は622,933千円（前事業年度末比 53,264千円増）となりました。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,901,839千円（前事業年度末比 7,222千円増）となりました。これは主に自己株式が92,503千円増加し、利益剰余金が95,937千円増加したことによるものです。自己株式の増加は自己株式の取得によるもの、利益剰余金の増加は配当の実施に伴い48,985千円減少する一方、四半期純利益の計上により144,923千円増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動により569,440千円の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）が増加しました。また、投資活動により193,304千円の資金が減少し、財務活動により155,169千円の資金が減少しました。

この結果、当第2四半期会計期間末における資金の残高は、前事業年度末に比べ220,965千円増加し1,155,272千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少223,670千円、税引前四半期純利益210,208千円、減価償却費114,065千円などにより569,440千円増加（前年同期は52,975千円減少）しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出193,739千円などにより193,304千円減少（前年同期は142,290千円減少）しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出100,033千円、配当金の支払額48,985千円などにより155,169千円減少（前年同期は74,024千円減少）しました。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2020年4月28日の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	934,306	1,155,272
売掛金	563,789	340,118
仕掛品	24,545	20,117
貯蔵品	122	136
前払費用	27,129	36,506
その他	1,245	2,340
貸倒引当金	△259	△157
流動資産合計	1,550,879	1,554,335
固定資産		
有形固定資産		
建物		
建物	15,488	15,488
減価償却累計額	△14,378	△14,580
建物(純額)	1,109	907
工具、器具及び備品		
工具、器具及び備品	14,298	19,568
減価償却累計額	△11,487	△11,529
工具、器具及び備品(純額)	2,810	8,038
リース資産		
リース資産	58,830	64,120
減価償却累計額	△16,885	△23,018
リース資産(純額)	41,945	41,102
有形固定資産合計	45,865	50,048
無形固定資産		
ソフトウェア		
ソフトウェア	451,325	502,379
その他	0	0
無形固定資産合計	451,325	502,379
投資その他の資産		
投資有価証券		
投資有価証券	12,960	12,960
長期前払費用		
長期前払費用	-	8,445
繰延税金資産		
繰延税金資産	116,813	116,813
保険積立金		
保険積立金	243,681	237,029
敷金及び保証金		
敷金及び保証金	42,761	42,761
投資その他の資産合計	416,216	418,010
固定資産合計	913,407	970,437
資産合計	2,464,286	2,524,773

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,477	61,343
リース債務	12,475	13,757
未払金	74,684	47,908
未払費用	10,654	13,581
未払法人税等	75,388	72,509
未払消費税等	26,391	23,934
前受金	64,649	138,827
預り金	15,335	13,987
賞与引当金	29,998	31,900
流動負債合計	353,053	417,749
固定負債		
退職給付引当金	134,989	142,815
役員退職慰労引当金	47,609	30,356
リース債務	34,016	32,011
固定負債合計	216,615	205,183
負債合計	569,669	622,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,881	332,092
資本剰余金	283,881	287,458
利益剰余金	1,312,006	1,407,944
自己株式	△33,152	△125,655
株主資本合計	1,894,617	1,901,839
純資産合計	1,894,617	1,901,839
負債純資産合計	2,464,286	2,524,773

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	896,102	1,024,711
売上原価	497,469	543,496
売上総利益	398,633	481,215
販売費及び一般管理費	289,971	270,356
営業利益	108,662	210,859
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	1,230	820
保険解約益	-	359
雑収入	129	180
営業外収益合計	1,363	1,365
営業外費用		
支払利息	475	546
自己株式取得費用	244	949
固定資産除却損	486	207
保険解約損	-	310
その他	0	1
営業外費用合計	1,206	2,016
経常利益	108,819	210,208
税引前四半期純利益	108,819	210,208
法人税等	37,146	65,284
四半期純利益	71,672	144,923

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	108,819	210,208
減価償却費	81,658	114,065
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	77	△102
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,343	1,901
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,932	7,826
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,914	△17,252
受取利息及び受取配当金	△1,234	△825
支払利息	475	546
保険解約損益 (△は益)	-	△49
売上債権の増減額 (△は増加)	△167,695	223,670
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,968	4,414
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,490	17,866
前受金の増減額 (△は減少)	35,987	74,177
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,718	△2,456
その他	△15,095	10,885
小計	11,004	644,877
利息及び配当金の受取額	1,234	825
利息の支払額	△475	△546
法人税等の支払額	△64,739	△75,715
営業活動によるキャッシュ・フロー	△52,975	569,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,283	△6,267
無形固定資産の取得による支出	△101,746	△193,739
保険積立金の積立による支出	△39,260	△10,866
保険積立金の払戻による収入	-	17,567
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,290	△193,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	483	422
自己株式の取得による支出	△20,542	△100,033
配当金の支払額	△49,035	△48,985
リース債務の返済による支出	△4,929	△6,572
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,024	△155,169
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△269,289	220,965
現金及び現金同等物の期首残高	1,052,065	934,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	782,776	1,155,272

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式113,300株の取得を行い、また、単元未満株式53株の買取りを行いました。また、2020年7月21日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式8,675株の処分を行いました。これらの結果、当第2四半期会計期間末において、自己株式が125,655千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。